

庁と水沢総合支所が混在して市民にとつて分りにくいとの指摘です。再配置を検討しています。

質問 市税等の収納率向上対策、未収の増加原因について伺います。

答弁 現年度分の納税率は前年対比0・08ポイント上がっています。しかし国保税では、雇用関係が改善されておらず、収納率低下の原因ともなっております。

質問 収納率向上対策本部の活動状況について伺います。

答弁 本部は副市長を本部長とし各部長で、委員会は各課長で構成し月毎の収納目標を立て、実績検討しながら巡回、徴収員を配置し収納率の向上に努めています。

質問 納税貯蓄組合補助金に係る組合要望について伺います。

答弁 組合の減少、煩雑な補助金申請の簡素化や納期内納付率だけでなく年度内納付率を補助金算定の根拠にするという組合要望について検討しています。

教育民生分科会

質問 民生委員の委員数が減少することであるが、伺います。

答弁 合併による13万人市としての適正規模として人数を減らすよう、県から指導があったが、今回は次回改選時に減らすのであれ

ば現状のままで許可されました。国の考え方もかわってきているので様子を見ながら対応していく。

質問 当地域における救急医療体制が非常に心配である。救急医療対策について伺います。

答弁 県立、市立病院の夜間救急体制の負担を軽減する意味でも開業医の協力で小児夜間診療所開設は大きなことであったが、救急体制だけでなく一般診療でも体制が問題で、要因は医師不足であり、開業医との連携を図りながら、みんなで地域医療を守っていききたい。

質問 特別養護老人ホームについて、施設設置の現状と今後、待機者数の状況等を伺います。

答弁 施設数は12施設、入所者数633人、待機者数は、691人となっております。今後の施設建設予定は1カ所です。新たな介護保険適用での施設計画は、3年ごとの介護計画に盛り込まないことできません。

質問 敬老会は運営方法や地元負担等が各区で違っているが、統一に向けての考え方を伺います。

答弁 水沢区、江刺区は社会福祉協議会に補助金を支給し、事業運営をしています。他の3区は市の直営方式で行われています。平成25年度からすべての区で対象年

齢を77歳とし、社会福祉協議会の事業運営に統一する計画です。地元負担の問題についても合わせて検討します。



古城地区敬老会の様子（前沢区）

質問 ゴミ袋の形状について、厚くすべきではないか、中サイズのものも作成できないか伺います。

答弁 使用方法も考えてほしいが、市民の声が値段が高くなってもよいとのことであれば、検討する用意がある。サイズについては検討したい。

質問 リサイクルの分別方法や収集方法等の統一について伺います。

答弁 平成20年度に策定を予定している環境基本計画の中に、ゴミ処理計画も位置づけられます。その中で市全体を統一します。

質問 自主防災組織の育成の現状と今後の方針について伺います。

答弁 水沢区の南地区での自主的な活動が先進的な事例となっています。今後は各地域において防災のリーダーとなる方の選出を当面の目標としています。

質問 学校の耐震診断結果を公表し、今後の対応も示されたい。

答弁 結果は一覧表にして提示し、学校現場へも周知する。今後の対応については、結果により耐震補強工事の実施計画の見直しも行い、年次計画で対応していく。

質問 不登校児童生徒が増加している等の問題がある中、適応指導教室指導員、学びと心の指導員の現状について伺いたい。

答弁 適応指導教室指導員は学校に対応できない子どもを指導を行っており、18年度は1名で19年度からは2名となっており、学びと心の指導員は学校訪問し不登校や学習指導の助言や支援活動を行っており、2名で指導しています。

質問 公民館の生涯学習事業について合併前よりやりにくくなっ